

稚内北星学園大学と北海道宗谷総合振興局との包括連携協定の概要

趣旨

地域の魅力発信やまちづくり、人材育成の取組など、官学が幅広い分野で連携・協力することで、宗谷地域の一層の活性化を目指す。

背景



稚内北星学園大学

- 最北端の大学で、管内唯一の高等教育機関情報メディア学部を有し、映像制作に定評
- 平成26年度に文科省の「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に選定。「地域の教育力向上」「観光まちづくり」「中心市街地活性化」の3つの柱で事業を展開するとともに、地域との連携・協力体制を深化



北海道

宗谷総合振興局

- 管内1市8町1村を所管する北海道の総合出先機関
- 上川、留萌とともに道北連携地域を構成。平成28年度に策定した展開方針では、「1次産業の担い手の育成・確保」「移住・定住の推進」「地域の特色を活かした観光の促進」を柱に、地域と連携して施策を展開

宗谷地域の活性化に向けた連携・協働の取組

「宗谷」の魅力発信に関する事項

- 学生が制作する映像を活用した、観光プロモーションや地域情報の発信
- 「サハリン(樺太)」をテーマとした映像を活用するなど、サハリン交流の促進
- 大学による映像制作セミナーの開催

まちづくりの推進に関する事項

- 道(振興局)や企業によるインターンシップ制度の活用や受入拡大を通じた「まちづくり」を担う学生の地元企業等への就業促進
- 「まちなかメディアラボ」の活用など、中心市街地の活性化に向けた取組の促進

地域の未来を拓く人材の育成に関する事項

- 振興局職員を講師とした大学への出前講座の実施
- 大学教員を講師としたセミナーやワークショップの開催(振興局主催事業)

その他必要と認められる事項

- 「わくほくメディアラボ」の有効活用
- 「選挙啓発」や「交通安全」など、振興局が実施するキャンペーンへの学生の参加

協定の内容